

委託調査に係る成果物の概要

1 件名

訪日外国人 2, 500 万人時代における出入国審査の在り方に係る調査・研究

2 委託先

株式会社日本総合研究所

3 目的

本件調査・研究は、我が国政府による観光立国の推進によって今後大幅に訪日外国人が増加した場合においても、出入国審査を円滑かつ適正に実施するため、将来の出入国審査の在り方の検討に資することを目的として実施したものである。

4 調査・分析対象

本件調査・研究では、主に以下の事項を対象として、調査・分析を行った。

- (1) 出入国に係る動向予測
- (2) 将来の出入国審査体制の検討
- (3) 諸外国における合理化された出入国審査
- (4) 自動化ゲートに係る費用対効果分析
- (5) 大幅に訪日外国人が増加した場合の我が国の出入国審査の在り方

5 結果の概要

今後、観光立国の推進により、大幅に訪日外国人が増加した場合には、現状の出入国審査体制では到底足りないことから、必要な体制整備を図ることが必要となる。また、それと併せて出入国審査の合理化を行う必要がある。

出入国審査の合理化に当たっては、従来の審査ブースにおける入国審査官による審査に比べて費用対効果が認められた自動化ゲートの利用を促進し、円滑かつ適正な出入国審査を実現していくことが考えられる。

別途実施した実証実験の結果を踏まえ自動化ゲートを増台することにより、混雑時の自動化ゲートの利用待ち時間を減らして利便性を向上させ、自動化ゲートの利用拡大を図ることが今後の方針として考えられる。併せて、自動化ゲート利用者登録数を増やすため、登録場所や登録機器の拡充等を図る必要がある。